令和５年９月１日

保護者各位

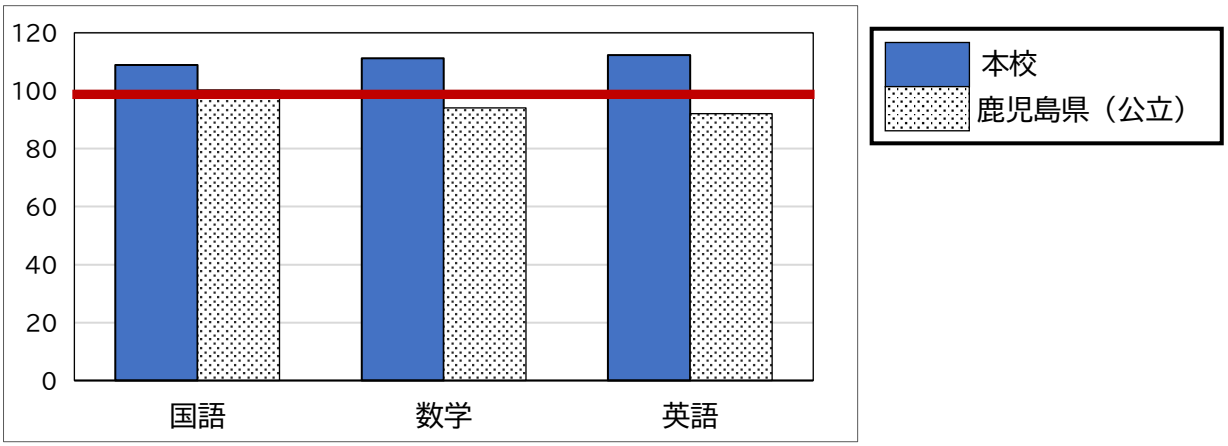
鹿児島市立西紫原中学校
校　長　　松 本　　遵

令和５年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき，ありがとうございます。

さて４月18日（火）に，中学３年生を対象に，「全国学力・学習状況調査」が実施されました。調査内容は，国語，数学，英語の３教科と，生活習慣や学習環境，学習習慣に関する質問紙調査です。本校の調査結果と，今後の改善策等についてお知らせします。なお，英語の「話すこと」のうちタブレットを使った調査（ＣＢＴ）は，本校が４月18日に調査を行う「当日実施校」にはあたらなかったため，調査結果は出ていません。

１　本校・県・全国の平均正答率の比較（全国平均正答率を100とする棒グラフ）



２　本校の調査結果と今後の改善策等

【国語】

平均して正答率はおおむね高く，特に，歴史的仮名遣いや「落胆する」の意味を選択する問題の正答率は高い結果となりました。

一方で，「おし量って」を漢字で書くことの正答率は低かったです。また，古典と現代語訳で比較した「竹取物語」の表現の工夫について，文章の構成や展開，表現の効果を，根拠を明確にして考える問題については正答率が低く，無問率が最も高いことから，個人差が大きいことが推察されます。書くことに必要な情報の根拠を引用したり，書いた内容を推敲したりする力を付ける必要があります。

以上のような課題を改善するために，以下の取組を進めていきます。

○　漢字，語句，文法，表現技法などの言語に関する学習が定着するように，継続して問題や小テスト等に取り組みます。

○　自分の考えを根拠にもとづいて論拠をはっきりさせながら伝える文章を書くために，文章の構成を思考ツールを使って構造的に理解することに取り組みます。

○　自分の意見と他者の意見を，交流を通して比較したり評価したりする活動をより多く取り入れ，考えの幅を広げたり，推敲する力を高めたりすることができるようにします。

【数学】

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で正答率が全国や県の平均を上回る正答率でした。数と整式の乗法の計算や式が成り立つ理由を説明するなど，数と式の計算については高い正答率でした。

一方で，自然数の意味や平面が決まる条件，反比例の意味，累積度数の意味など，数学で扱う事象の意味を問う問題の正答率が低かったです。また。問題解決の方法を数学的に説明する問題，図形の性質について筋道を立てて考え，事柄が成立する理由を説明する問題の正答率も低かったです。

以上のような課題を改善するために，以下の取組を進めていきます。

○　基本的な計算問題とともに，素因数の問題練習に継続して取り組みます。

○　思考力・表現力を伸ばすために，県教育委員会が作成している「かごしま学力向上支援ｗｅｂシステム」の評価問題に継続的に取り組んでいきます。

○　図形の証明問題や数学的な表現を使った証明問題の演習問題を行ったり，定期テストで出題したりすることで，多くの問題に取り組むことを通して論理的に説明する力を高めていきます。

【英語】

全体的に県や全国の平均を上回る正答率でした。領域別では「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のすべての領域で県や全国平均を上回る正答率でした。英文から情報を読み取って適切なグラフを選択したり，短い文章の要点を捉え適切な内容を選択したりする問題は高い正答率でした。また，メールの英文を依頼する表現に書き換えるといった言語の働きについての理解もできているようです。

一方で，学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを１つ取り上げ，それを説明するまとまりのある英文を書く正答率は低く，事実や自分の考えなどを整理し，まとまりのある文章を書くことに課題が見られます。

以上のような課題を改善するために，以下の取組を進めていきます。

○　「聞くこと」については，授業の中で定期的にリスニング問題を取り入れていきます。

○　「書くこと」については，教科書にある writing の問題を活用して，主語と動詞のある文を書けるようにする学習や，英語の語順について理解を深める学習を行っていきます。

【全体的に】

○　４月18日（火）に受検した生徒には，個人票を渡しますので，テストの振り返りをしてみてください。なお，調査問題は，国立教育政策研究所ホームページに解答とともに掲載されていますので，参照してください。（https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm）

○　家庭学習の定着とその質の向上を目指して，家庭学習の取り組み方について指導を行っていきますので，ご家庭での見届けをお願いします。また，言語力を向上させるために，読書や新聞に親しむ習慣をつけてもらえればと思います。

○　また，規則的な生活習慣を定着させたり，生徒がネットトラブル等に巻き込まれることを防いだりするために，スマートフォンやタブレット，ゲームなどの使用方法や使用時間を決めるなど，家庭内でルールをつくり，定期的に見つめ直してください。

○　そして，子どもの将来の夢や目標について，ご家庭でも話し合っていただき，生徒が自らの可能性を信じて，目標に向かって努力するように励ましていただければと思います。